

## 望月地域内における意見募集で出された意見・要望

（意見募集期間：令和7年11月19日～12月10日）

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>人の交流と地域の交通安全を高めるために、地域内の道路改良を推進し、安全・安心なまちづくりを図ってほしい。</p> <p>今回要望する下記道路は、昭和49年に望月町長、各砕石会社、ダンプ公害反対期成同盟会の三者で締結した「交通公害防止協定」内で昭和50年度中に完成させるよう定められ建設された道路です。県道望月雨境線のダンプ交通制限に密接に関係する路線であり、地域内の安全安心に欠かせない道路です。</p> <p>又、春日温泉と協和内3ゴルフ場を結び、観光路線としても大変重要な道路です。</p>	市道の改修工事	<p>観光客や砕石運搬車両の通行に不可欠な通称「ダンプ道路」（協和中島橋付近から、合の沢・延沢・サニーヴィレッジを経由し、県道望月雨境線を結ぶ市道）の舗装状態が悪く交通に不安があるので、改修工事をお願いしたい。</p> <p>特に望月カントリー付近から延沢十字路の間は、路盤がゆがんでおり路肩がいたんでいたり、道路としての基本的な部分にいたみが見うけられ、重点的に改修をお願いしたい。</p>
<p>スポーツ少年団に参加している子供達が安全な環境で安心して活動でき、保護者も安心して送り出せる環境づくりが必要と考えます。</p> <p>私たちスポ少バレーは、布施体育館をホーム拠点として活動していますが、体育施設や周囲の環境に不便や不安を感じる場所がある。地域の子供たちがより良い環境で安心して利用でき、佐久市外のチームにも交流を兼ね練習試合などに来てもらい易い施設になるように下記の要望を提出します。</p>	布施・本牧体育館のトイレ改修	<p>旧小学校の体育館のうち、R3年春日体育館のトイレ改修後その他の体育館の改修はされず、和式のままのため、特に女子児童がトイレを使用しにくく不便。（今は和式トイレを使用できない子もいる。）</p>
	体育館駐車場に防犯灯設置を	<p>布施体育館駐車場に照明設備が無く、特に冬季の夜送迎の時、危険を感じる。また、防犯上にも良くないと思われます。（タイマー式の照明機器でも良いと思われます。）</p>
	布施体育館南側山林の整備	<p>布施体育館南側山林が整備されてなく荒れている。布施温泉付近での熊の目撃情報もあり、野生動物との遭遇も考えられ危険である。また、冬季の昼間は日差しが入らず寒く不便さも感じる。</p>
<p>・春日地区にとって、春日温泉は唯一の宝です。一日も早く改築をお願いします。その際大きめのロビー作ってもらって、お客さんと交流イベントが出来る様になれば良いと思います。（ソバ打ち、ワラ細工作り等）</p> <p>・区や町内で一年に一度位みんなが集まれる様に、映画会とか講演会が出来ないものではないでしょうか。</p> <p>・鹿曲川、細小路川に渓流釣りが出来る様、川の整理と魚を放流し、多くの釣り人とその家族等が泊まれる様にする。（春日温泉へ）</p>	市の道路工事	<p>春日の東久保地区の道路が、両面に差があって通りにくいので</p>
	春日地区にヘリポートが欲しい	<p>元春日小学校の校庭等に医療ヘリコプターが来れる様に</p>
	空部屋利用	<p>程度の良い空室を、数か月あるいは数日別荘代わりに貸し出すNPO法人みたいな物を作る</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>大成功事例であった、観音峯メガソーラー発電所とクラインガルデンが陳腐化、老朽化が始まっているように思います。</p> <p>特定財源が使えるのであれば、過疎指定が利いているうちに次なる一手が必要かと思えます。</p>	クラインガルデンの畑地に傾斜をつけ、排水対策をしてあげる	年間滞在日数が限られているお客様に、何を作ってもよくできるように最大限の配慮をしてあげたい。
	クラインガルデンの畑地に客上をする	この地域の畑土は信州ロームの生産性が低い土ですので、できるだけの手を打ってあげたい。
	クラインガルデンの畑地を深耕する	自分の手で深耕からできるお客様はおられないようですので、せめて利用客の交代時に行政側で深耕をしてあげてはいかがでしょうか。
	クラインガルデンの給水系の凍結防止対策更新	<p>冬場の利用が低迷している理由の一つは、水回りの凍結予防対策が煩雑で、利用を控えてしまうということがあるようです。</p> <p>せっかくの成功事例ですので、老朽化対策に併せて特定財源が使えないものでしょうか。</p>
	メガソーラー発電所の撤去計画と移住者向け用地分譲	<p>夢のような話ですが、メガソーラーの撤去にはいずれ多くの費用が必要になるでしょうから、撤去費用が過疎適用になるようでしたら計画には載せておいていただくと良いと思います。</p> <p>跡地は、大評判によって移住者用の分譲地という計画ではいかがでしょうか。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>農業用水利体系を整理、再整備する必要があります。</p> <p>県営圃場整備事業において、第一工区、第二工区、第四工区が年次的に設計、施工されたため、工区をまたぐ導水路の間で齟齬が目立ってきています。</p> <p>一方、耕作者の中には移住者の仲間入りも始まり、大規模農家も各工区をまたいで耕作しており、従前の東久保耕作組合、西久保耕作組合、比田井耕作組合による役員体系ではこの問題は解決できません。いまさら土地改良区を編成するわけにもいかないでしょうから、行政の関与が必要です。</p> <p>江戸時代から続く慣例、先例のみによる運営では移住者にも他市町村からの大規模耕作者にも敬遠され、広大な耕作放棄地ができてしまう恐れがあります。是非とも特定財源を利用して推進する道を開いてください。</p> <p>各耕作組合との意向確認をしておりませんが、地域から問題提起があっても一区長会長や一区長の守備範囲を超えた問題ですので、事前に行政側が全体像をつかんでいる必要がありますので、あえてこの機会に書きました。</p>	工区をまたぐ全体の水系図を作成する必要があります。	
	宮平（本郷バイパス下方）までの漏水対策が必要です。	
	大西用水の取入口の詰まりをなおす必要があります。	上記の宮平まで水が届かなくなった直接の原因は、大西用水の取入口の詰まりなのですが、風聞では取水口として公式なものではないので、行政でも手が出せないといっているそうです。 しかし、そのまま事がすむはずもないので、研究をお願いします。
	神の尾用水の水系と比田井用水の水系の権利関係の再確認と組合間の連絡調整の仕組みをつくってあげる必要があります。	神の尾用水の水系は全部が春日地区区長会の管轄区域におさまりますが、比田井用水の取入口は春日地区にあり、西久保耕作組合も比田井用水を利用しているというねじれがありますので、調整が必要です。 最近、市外の大規模農家も出作に来てかなりの面積を耕作していますので、権利関係をはっきりさせておく必要があります。

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>山、川、田、畑等がある、自然豊かな望月地域を大切に守り続けながら生まれ育ったこのまちに、一生住み続けたいと思うのは言うまでもありません。</p> <p>私達の頃には、高校を卒業して県外へ就職しても、4～5年後にはほとんどの人が、望月に帰って来て家を継ぎ、今に至っています。</p> <p>現在は、少子化の影響はとても大きいのですが、生まれ育ったこのまちに帰って来るといふ若者が本当に少なくなっています。</p> <p>以上の事から、</p> <p>一、働く場の確保（200～300人規模の企業を誘致する）</p> <p>一、望月の自然環境のすばらしさをアピールする</p> <p>（佐久市の協力を得て、TV、ラジオ他の活用、例「ふるさとCM」等）</p> <p>一、佐久市が主体となり、民間の企業・団体と協力して、福祉介護施設の建設等、いくつもありますが、皆んながこのまちに興味を持ち、考える事が大切だと思います。</p>	<p>町内を通る旧中山道を大型車の通行を制限してほしい</p> <p>市道と県道の補修工事</p> <p>企業を誘致して、周辺地域から人を集める</p>	<p>地元住民や観光客の安全を守る為に、西町・県町・御桐谷町・本町・八千代町・東町を通っている中山道を、大型車両の通行を禁止（制限）を要望。</p> <p>旧井出野屋旅館前から、今井新聞店前までの舗装状態が悪く、特にマンホールのフタの周辺が穴があいていて、危険を感じるので、早急に対処して頂きたい。</p> <p>他の市町村から働き手が集まり、従業員の住宅や食堂・商店などが潤い、その結果、望月地域が活性化していくのではないかと思います。</p>
<p>春日温泉周辺の(例)にも大賛成ですが、そのためにも春日の中心、学校を中心として秋葉山の修復を願いたい。遊歩道の整備、城跡の修復、文化、歴史、交流、体力増進、色々に役立つと思います。今の時代に即したように。</p>		
<p>春日に住んでいる者です。</p> <p>春日は若い人達も佐久の方に出て行き、春日は遠い、職場から遠いと若い人は言います。</p> <p>今は旧春日小学校がそのままあります。</p> <p>私の意見では、老人の為に活用したらいかがでしょうか。</p> <p>湯沢は温泉施設として人々が何日でも居られる湯治場として活用したら良いかと思います。自分でご飯を作り自由に過ごす。お金は安くすむ。買物の足はデマンドタクシーです。</p> <p>建物は古い方が良いと思うので、今の泉屋の建物をそのまま活用する。</p> <p>以上です。よろしく願います。</p>		

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>最近、移住して来た方や移住を考えている方達とお逢いする機会がありました。</p> <p>その方達の声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土と水を考えて移住（佐久）</li> <li>・農作業を含め移住（佐久）</li> <li>・都会のせわしなさから心のゆとりを望み農業を含め色々試していきたい（小諸）</li> <li>・移住している方が多く、受け入れてもらいやすく、気持ちが分かりあえる（佐久）</li> </ul> <p>何かのこだわりで特化した事、物をアピールする事で移住につなげていく。反対に移住を望んでいましたが、寒さに負けて断念した方もいました。</p>		
<p>住んでいる人が優しく、なだらかな山の中にあり、だいたい晴れている。とても素敵なまちだと思います。</p> <p>小学校で管理している田んぼの存続が厳しくなっているとの事…。畑や田んぼをやっている祖父母の家等に勉強をしに行き、学校にレポート提出という形で、授業の一環とした農作業体験を子供達にさせてあげたらどうでしょうか？10代と80代をつなぐイベントがあるといいと思います。</p>	自販機の設置	望月商工会議所近辺に、飲料の自販機があるといいと思います。時々大型バスでたくさん人が来ているので。
	街灯の設置	御桐谷橋から駒の里ドライブインまでの道に街灯が少ないと思います。（暗くてこわいです）
<p>旧望月町にも都市計画「税」がかせられています。過疎地域にはふさわしくないとされます。都市計画内での住宅の新築、増築に制限があり、若者が地域から出て行っています。またその税が地元に使ってもらっていないのでは？</p>	市道の管理のずさん	グリーンベルトを道路に施工してはあるものの、草がおおい被さっており歩行者はよけて歩いています。対策を望みます。



これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
—	農道の開設と水路改修	<p>新田区炭山地籍から竹の城区まで、農道約500mの開設と同地籍の水路改修をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望月は沢で巡回ができない（行き止まり）</li> <li>・佐久市ルールで通り抜け出来ない道路は負担金をとられる</li> <li>・川（水）を守るためにも必要な道</li> </ul> <p>農道開設・水路整備を計画に入れてほしい</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型農業者の後継者が不足していると思う。後継者の養成をしていただきたい。</li> <li>・大型企業の誘致（若者が町内に住む期待が大きい）</li> </ul>		
—	市道の改修工事	旧永井牧場から竹之城、新田、湯沢の市道の舗装状態が悪く通行に支障が出る恐れがあるため、道路の改修工事をお願いしたい。
	神の尾用水の土留め工事	用水に土砂の崩壊や流出があるので、傾斜地や段差のある場所を重点的に工事をお願いしたい。災害が発生する前にお願いしたい。
	企業誘致	若者の働く場所がなく、若者の流出等により人口減少と高齢化が進行しているので、生活に必要な機能を整え、この地に住みそだて出来る環境にしていきたい。
<p>県外からの交流人口を増やすために、佐久平駅から望月までの交通をつくってほしい。バスがなくなってから、公共交通を使って望月に来る人は0になりました。（以前はすくなくともありました）</p> <p>バスを再開できなくとも、何かきっかけになるイベント的なもの、または自家用有償運送やシェアサイクルなどの新しい取り組みをすることで「おもしろそう！」と思ってもらえるまちづくりをしたいと思います。</p> <p>アイデアのひとつなので参考にしてください。</p>	ライドシェア、シェアサイクルの運営	佐久平駅から望月、望月の中の移動を住民も県外の人もしやすくしてほしい。

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>前回の計画策定時には、意見・要望を出したままになってしまいましたので、計画に反映されないまでも方向性が適切であったのかが確認できていませんが、前回と同じものに状況が変わった部分のみ修正、上書き等して提出しますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なるべく、過疎計画による財源を市内全域で活用していくという方向で書いてみたいと思います。</p> <p>以下に挙げる事業の多くは、いずれも住民パワーにより既に長年の実績をもっており、行政との協働をどう謳うかという点にかかっている、行政側の負担を増やす方向性を持つものでもありませんので、この際過疎計画に明記していただくとありがたいです。</p> <p>また、本年度は合併20周年ということで、過疎計画とは直接関係が無い事への言及をお許しください。現在、公立学校は「コミュニティ・スクール」とか「地域学校共同活動」ということで、コミュニティの側の力を求めています。しかし、『佐久市教育振興基本計画』によりますと、学校に対する支援が必要だから支援する仕組みを構築するのに、地域に不案内で人的資源も無い学校にこれをつくれという。これは虚構に他なりません。そんなふうですから本過疎計画の区域外の学校区には共同活動の核となるコミュニティ側の組織も人的資源も見えてきません。以下に書くことは本過疎計画の区域外の地域のご参考にもしていただければ幸いです。</p>	授業改善のための教職員勉強会の公費化	<p>望月地域では一戸300円の会費を出し合って講師を招聘し、小中学校の先生方の「主体的な学びを引き出す」という研修を後押ししてきました。</p> <p>近年は教育課程に盛り込まれたことでもあり、行政も協働して住民負担を少しでも軽くする方向へご検討をお願いしたいです。</p> <p>従前から望月学校区以外の先生方へもお誘いしてきました。望月の元気が佐久市全域の元気となるはずです。</p>
	コミュニティ・スクール推進活動の資金公費化	<p>前記の一戸300円の会費の中から、コミュニティ・スクールの推進に向けた経費をこちらへも振り向けています。しかし、『佐久市教育振興基本計画』では、「地域学校協働活動」ということが明確に謳われていないためでしょうか、活動資金もコミュニティ側へは流れてきません。過疎の財源を使うことを明記していただくと有難いです。</p>
	少年少女スポーツ・文化クラブの育成	<p>望月地域では前記の一戸300円の会費とは別に一戸300円を出し合って青少年育成会を運営してきました。</p> <p>この育成会が、また少年スポーツ教室や望月子ども太鼓へ資金を回し、細々ですが伝統をつないできました。</p> <p>今後中学校の部活動廃止にともなって、地域のスポーツ・文化クラブの重要度は増してくるものと思われますので、社会教育法を実践する部署が直接活動の強化育成に当たるとともに、過疎計画に明記してわずかな金額でも特定財源が使えるようご検討をお願いします。</p> <p>なお、春日育成会剣道教室では望月地域以外の子どもも受け入れてきました。望月が元気になれば佐久市全域が元気になります。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
	望月青少年剣道大会の充実	望月地域ではスポ協望月支部や育成会が主体となって、望月青少年剣道大会を運営してきました。この大会は事実上の佐久市民剣道大会です。 過疎計画に明記して、わずかな金額でも特定財源が使えるようご検討をお願いします。
	松明山ウォーキングロードの整備	このコースは、もちづき総合型クラブや望月まちづくり研究会を中心に整備が行われて、小中学校の校外学習にも利用されてきました。（「まち研」は現在活動停止、「総合型クラブ」へは本会から資金補給） 市内2つのセラピーロードや桜の咲く小路、虚空蔵山コースなどとともに、市内全体のウォーキング愛好者が各コースをまわる、健康づくりの一翼として寄与することにもなると思うのですが。 なお、主に中心になってくれているのがNPO法人ですので財政基盤が弱い状況から、これら事業は駒の里プロジェクト事業のように自主財源を必要とする補助システムとは別のメニューを用意してあげる必要があるのではないのでしょうか。
	信州望月太鼓の支援	信州望月太鼓は、望月中学校生徒会の若駒太鼓の指導にあたり、望月子ども太鼓駒の育成を行うなど次世代養成の活動に功績があります。 しかしながら、母体となる組織も後援団体も無いため、駒の里プロジェクト事業のように自主財源を必要とする補助事業には手を上げにくい状況があります。 つきましては、補充が必要な装備等の現物補助か貸与のような制度をご検討いただきたくお願いいたします。（前項のような自主財源を必要としないメニューができればなおよろしいかと思います。）

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
	望月少年自然の家へ向かう市道改修・改良の促進について	<p>今後中学校の部活動廃止や教職員の働き方改革による学校行事の縮小にともなって、地域にある教育のための資源は益々重要度を増すものと思われます。</p> <p>少年自然の家にあっては、指定管理者である信州リゾートサービスさんがその身を削って地域に貢献してくれています。</p> <p>つきましては、望月少年自然の家への時間的距離を縮めるため、市道部分の改修・改良のスピードを上げてください。</p> <p>これも望月所在の資源を市内全域で活用していくという方向性をもった事業ということになります。</p>
	少年少女スポーツ・文化活動用の施設整備	<p>今後、地域にある教育のための資源は益々重要度を増すものと思われることは前述のとおりです。</p> <p>つきましては、計画区域内にある教育関係施設の延命をお願いします。廃止等の対象になっているものも、前記の教育環境の変動を予測せずに策定されている可能性があります。せめて特定財源が使える区域内を整備して市内全域で発生が懸念されている施設不足に対応できるようご配慮をお願いします。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>(子育て世帯の区民の方を中心に意見の聞き取りを行った)</p> <p>①佐久平周辺は道路や施設も整備が整っているが、浅科・望月方面に向かうと過疎化が進み、空き家や荒れた土地が増えている。温泉施設へ向かう途中にも人が集まれるお店やイベントがあれば良い。(同意見で、西友付近に葬儀店が増えすぎ、飲食店が少なくなった、トラックが峠を越える前に寄れる様な道の駅等があれば良い)といった意見を頂きました。併せて、東西幹線道路の早急な整備を進めて欲しいといった意見が出たので、現状を私から説明したところ(現在C案で進行中)誰もが、すでに春日～抜井までが整備されており、そのままB-1・B-2案で開発されると思っていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期待はずれ</li> <li>・抜井～式部間を拡張したい市の意向は解るが抜井だけが徳するだけ、中居～大木の人達はB1・2で開通すれば絶対にそこを使用するだろう。(抜井の人もB案ならかなり時短になるはず。)</li> <li>・開通後使用する当事者の我々が把握していないところで計画が勝手に進行しているのはいかがなものか？周知活動後に住民投票などで計画を進めてはいいかか。</li> <li>・B案の廃棄原因は冬季安全性と地形改変量と思われるが、トンネルという選択はなかったのか？</li> </ul> <p>といった以上の声が上がった。</p> <p>(この件に関して区長として8月7日の説明会に参加、終了後に春日か協和？のある区長さんとお話をしたところ、C案路線なら中学校付近～布施温泉を通る、整備されても春日区民は誰も使わないだろうといった意見を頂きました。</p> <p>②もっと、地域農家を応援して欲しい(米だけでなく)高原野菜もブランド化しているのに地元での販売も少ない！！高齢化も進み使われない畑も増えてきているのが気がかり。</p>	市道脇の木の整備 (布施温泉～中石堂)	<p>布施温泉から中石堂へ上がる道路サイドの木の倒木や枝の垂れ下がりが多い、長者原予冷庫へのトレーラーの幹線道路になっているが、枝を避けるためにセンターラインを越えるトレーラーが多く危険！！</p> <p>また、多くの区をまたがっている為、要望が出しづらい。</p>
	デマンドタクシーのスクールバス運用	<p>学校の土・日の部活動や、これから部活動が地域に委託されるにあたり、市で送迎車を手配してほしい。現在学生の部活動の送迎等が親の大きな負担になっている。(特に野菜の最盛期には身動きが取れない。)</p> <p>デマンドタクシーを予約なしでスクールバス運用はできないでしょうか？</p>
	市道の整備 (長者原地区全体)	<p>長者原地区全体的に舗装状態が悪い。及び狭い。改修をお願いしたい。(大型トラクターのすれ違いができるとう助かる。)</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧春日小学校の企業誘致</li> <li>・空き家への移住を確保する</li> <li>・若い農業移住者に水田も耕作してもらう</li> </ul>	旧春日小学校の企業誘致	・企業が来て仕事の場所が確保できれば、若い人の流出がぐいとめられる。
	空き家への移住の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬が寒いため、空き家の寒さ対策をして売る。</li> <li>・夏だけの別荘のような使い方をしてもらう。(畑つき別荘のような)</li> </ul>
	水田の新しい耕作者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械を買う補助金の増額</li> <li>・使わなくなった機械の紹介</li> </ul>
道路が広くなり、若者達が地元に残り、通勤・通学に危険が無い様、又、東西幹線開通に伴い、春日温泉への客が増えることを望む。	県道150号線、抜井地区	<p>道幅が狭く、車のすれ違いが非常に危険、早期拡幅をお願いします。</p> <p>見通しの悪い場所も多い。</p> <p>雪が降るとすれ違い出来ない。</p>
<p>観音寺地区からの提案 ①</p> <p>観音寺地区の構成世帯数は50戸（別荘は含めず）。このうち、ここ15年程度で移住をして来たお宅が18戸と全体の36%を占めています。これは他の地域と比べても異例な割合と言えらると思います。</p> <p>では、なぜ観音寺を移住の場として選んだかを調べると、圧倒的に多い意見が「浅間、蓼科、アルプスを望むことができる風光明媚な土地」と答えます。観音寺地区では先人が残してくれたこの土地をいかに魅力的な物に価値転換をしていくかを考え、誰もが住んで良かったと言ってもらえるよう美化清掃に重きを置いて活動しています。その甲斐あって大きな人口減少はなんとか防いでいますが高齢化に端を発した作業従事の可能な人口減少が年々顕著となっています。</p> <p>そこで過疎債を利用して幹線道路、市道、農道、生活道路の清掃を効率よく行えるように取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>観音寺地区の現状</p> <p>観音寺地区では区民総出の草刈りを年に3回、そのほかに動噴2台を使っでの除草剤散布、U字溝に積もった雑草や落ち葉の掃除が年1回などを行っています。この他に神社の草刈りとして稲荷社の掃除が年2回。水利組合による水路の草刈りが年2回などと各団体も活動しています。区としての作業範囲は添付の地図に</p>	大型重機などを導入し効率的な草刈りを実現してほしい	<p>事業内容</p> <p>今回実施していただきたい内容は、行政において大型草刈り機（トラクターに草刈り用のモアを取り付けたもの）を導入し、主要幹線道路、市道の草刈りを実施していただけないかという提案です。もしくは作業者は自分たちで手配しますので大型重機による草刈り作業の費用の補助（燃費や消耗品）をお願いしたいと思います。機械が入れない場所（ガードレールの裏側など）は市のアダプトシステムも活用し燃費や除草剤の支援等を受けながら人力で対応します。側溝やU字溝に関しては背負式のプロワーの購入の補助をお願いしたいと思います。人手不足を補うには機械の導入が最も有効な手段であると考えます。</p> <p>事業の目的</p> <p>1. 人手不足を補うことが大きな目的ですが、行政も美化活動に積極的であると言う事は、これまで美化活動に積極的でなかった人々たちへのメッセージとなりうらると思います。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>も示した通り総延長は約8,600メートル、この距離を往復、側溝のある場所は中の清掃と途方も無いほどの作業量です。これに対し構成世帯数は50戸。草刈りなどの共同作業に参加できる実働数は現在42戸。しかも「佐久市民新聞」によりますと65歳以上の割合を示す高齢化率は46.2%となっており、すでに区民で行える作業量としてはキャパシティをオーバーしています。このため作業が行き届かない場所は区内の農家にトラクターによる草刈りを有償でお願いしているのが実情です。</p>		<p>2. 道路の視界や幅を確保することは通行の安全性の面で大変重要です。また、中山間地域においては野生動物などの身を隠す場となってしまい、道路に飛び出してくる動物などをとっさに避ける行為は大きな事故になりかねません。こういった事は雑草が大きく成長する前に対処する事でリスクも大きく減らす事が可能です。</p> <p>3. 観音寺地区はクライנגルテンに接している地域柄から、外部からの接触も多く、散歩を楽しむ方も多く見受けられます。そういった中には、機会があればこの地域に家や土地を買いたいと考えている方も多くクライングルテンの懇親会などに参加すると地域情報を求める声も多く寄せられます。地域の美化活動はそういったニーズをさらに後押しするものと考えます。</p> <p>過疎地域における持続性とは、現状を維持するだけでは発展は見込めないと考えます。にも関わらず現状では維持をする事すら困難な状態です。ここは行政にご協力をいただくことで地域の特性を生かせるビジョンを見出し、効率的に活動することで未来の望月を創造したいと考えています。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>観音寺地区からの提案 ②</p> <p>観音寺地区では農業生活改善施設を公民館として使用しています。約30年前に区民などがお金を出し合って作られたと聞いています。現在では公民館として地域の集まり事や選挙の投票所として使われる他に指定緊急避難所の指定も受けており地域の拠り所となっています。建設当時は現在のような地球温暖化も大きな問題とはなっておらず冬の暖房さえ用意しておけば問題のない環境でしたが、ここ数年は夏は暑くて使えない状態が続いています。佐久地域でも以前は冷房用のエアコンなど必要なかったですが、昨今はどの公共施設に行っても冷房は当たり前前の設備となりつつあります。そこで、過疎債を利用してエアコン導入の資金援助をお願いしたいと考えています。</p> <p>観音寺地区の現状</p> <p>観音寺地区の構成世帯数は50戸で年々減少傾向にあります。従って区費などの収入も減り区の運営に大きな影響を及ぼしつつあります。以前からエアコンの導入は検討されてきましたが、量的に大型機種が必要であり、取り付け費用もそれに応じた金額がかかってきます。区の収入が減少傾向にある中で大型のエアコンを導入するのは負担が大きいため過疎債を利用した導入をご検討いただきたいと思っています。災害がいつ何時起こるか分からない現代において真夏に緊急避難所として使用するのはいかかって危険なのではないかと思われる状態をなんとか解消していただきたいと考えています。</p>	<p>過疎債を使用して公民館などの公共施設にエアコンを導入したい</p>	<p>事業内容</p> <p>公民館のメインホールおよびキッチンなどを避難所として使う場合でも十分に役割を果たせる容量の大型エアコンを導入するにあたって、過疎債を使って機種代および工事費の負担をお願いしたい。</p> <p>事業の目的</p> <p>災害とは、何も地震や洪水、土石流、地滑り、噴火といったこれまで言われてきたものだけではなく、気候変動による猛暑や高温状態も新しい現代の災害となりうると考えます。そんな中で緊急避難とはいえ真夏などにエアコンの無い部屋に集まることは大変危険であり二次災害が起きてもおかしく無い状況を作り出してしまいます。できるだけそういった状況が改善できるよう、公共施設へのエアコンの導入は優先事項であると考えています。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>観音寺地区からの提案 ③（提案の趣旨）</p> <p>望月は過疎とどう向き合い、どの方向に向かって進もうとしているのか明確なビジョンが見えていないように思います。進むべき方向を明確にしないで過疎からの脱却を目指しても中々答えは得られないのではないのでしょうか。そこで、まずは何を目標に未来を見据えて進むべきを考えるべきです。</p> <p>過疎問題を抱える多くの自治体で特に顕著なのが住民の高齢化と少子化であり望月もその例にもれません。特に少子化は重大な問題で持続的発展計画を立てようにも将来を背負って立つ人材が足りないからです。従って、過疎問題に歯止めをかける第一歩は地域の子供を増やしていく事ではないかと考えます。</p> <p>しかし、ただ子供を増やすといっても親は生活を維持するために経済活動が必要であり、それを求めて人口の流出が続いてしまい経済活動の場が少ない望月は子供の人口も減少するばかりです。</p> <p>ではどうしたら流出を防げるか。経済活動よりも子育てが優先、もしくは子供がこの地から離れたくないと思える環境作りが人口の流失を防ぎ、外から見ても望月で子育てをしてみたいと思えるような環境作りにつながるのではないのでしょうか。</p> <p>現状</p> <p>子供がゲームばかりしていて外で遊ばない。親も、外で遊ばせると目が届かない。汚れて帰ってくるなど他にも理由はあると思いますが外で遊ぶ子供の姿をほとんど見なくなってしまいました。</p> <p>以前は今のようには携帯電話やパソコンが普及していなかったとはいえ外で遊ぶ子供をたくさん見かけましたし、ゲームのように同じ遊びばかりするのではなく、様々な工夫をして体を動かしながら友達とコミュニケーションを取り合って遊ぶ子供の姿は生き生きとしていたように感じます。デジタルが悪い、アナログが良いと言う事ではなく、空の下で友達と触れ合いながら安心して遊べる、学べ</p>	<p>健康な子供育成を応援するプロジェクト</p>	<p>事業内容</p> <p>1. 望月支所管轄区内の幼稚園、小学校、中学校のグラウンドを全て芝生張りにし裸足でも走り回れる環境作りをする。裸足で外を走り回れる健康な体づくりを目指します。これは見た目にもインパクトがありますが芝生の上で子供を走らせたいたと考える親御さんの思いでもあります。</p> <p>2. 親子一緒に学べる食育に関する講座などを企画し健康な体づくりを共に考える。自分の体にとって健康に毎日を送るにはどんなものを摂取していくのが良いのか親も一緒に学ぶ。これは子供とのコミュニケーションの場ともなり、お互いの日常生活の情報交換の場としても役に立つのではないのでしょうか。</p> <p>3. 野菜や果物などを自分たちで作る機会を増やし、自分たちが住んでいる地元の特性を理解してもらう。地元で作れる食物はどんなものなのか、どのような工程を踏んで食品として届けられているのかを理解することは地元の特性を知る上で大変わかりやすい例となるのではないのでしょうか。</p> <p>多くの懇談会や意見交換会に出席してみると子育て世代のお母さんの意見が一番熱く真剣に将来のことを考える意見が多いように感じます。そういった意見が子育てに反映し未来の望月を形作っていく原動力になるのだと思います。そういった意味では上に挙げた内容の他に子育て世代の親御さんのアイディアや意見を強く反映させた方向性を打ち出すことが大切であると考えます。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>環境を作ってあげることが大切であり、魅力のある望月町を作り上げるのだと思います。</p>		<p>事業の目的 望月町の将来を考えた時、子供の減少は致命的な問題であり、早急に対処しなければならない案件であると考えます。この問題を考えたとき、いかにして子供を増やすかは他の自治体とは一線を引いた子育て計画しかないのではないかと考えました。子供たちが生き生きと元気に走り回り、健康に健全に育って行ける環境作りこそが持続的発展計画のキーワードであると考えます。他所から見ても望月で子育てをしたいと思わせるほどの手厚い支援は過疎債を当てることでしか実現できませんし過疎債を使う大義にも最も即している事業ではないでしょうか。芝生張りなどは幸いにして望月支所管区内にはゴルフ場が3箇所もあり芝生に関するノウハウはいつでも相談できるのではないのでしょうか。また休耕田などを借り入れて芝生の育成を行うことも可能だと思います。芝は同じ場所で何度でも育成できますので将来は芝ビジネスも可能なのではないのでしょうか。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>観音寺地区からの提案 ④</p> <p>クラインガルテン佐久は観音寺の隣にあり懇親会や日常の場でも利用者からの話を何かとお聞きする事も多い環境にあります。そんな中でよく聞く話としてクラインガルテン佐久は入れ替えが順番待ちです、多くの利用希望者が何年も順番を待たれていると聞きます。また、多くの利用者からお米を作りたいという話を聞きます。クラインガルテンは過疎対策の一翼を担っている事業であると聞いています。そうなのであれば過疎債を利用してさらに棟数を増やすなどしてより多くの人に望月の良さを知ってもらうのが本筋であると考えます。クラインガルテンの隣人として観音寺地区ではクラインガルテンのリニューアルを提案いたします。</p> <p>現状</p> <p>クラインガルテンでは入居に訳3年待ちという状態のようです。そんな中でも待っていただいている利用希望者がいるということは大変ありがたいことであるとともに、裏を返せば他の施設にも応募をしており他所に入居が決まれば希望者が減るということです。現実には近年ではクラインガルテンも幾つかオープンしており必ずしも狭き門ではなくなってきています。それでも入居希望者がいるうちに何か対策を打たないと佐久のクラインガルテンは古い施設になってしまうのではないのでしょうか。</p>	クラインガルテンをもっと利用価値の高い施設にリニューアルしたい	<p>事業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>クラインガルテンの棟数を増やすなどして入居待ちの数を健全な数字に下げしていく努力をすべきだと考えます。</li> <li>現在企画されているクラインガルテンの懇談会は入居者と協力会員のみが参加可能であり比較的閉ざされた会となっています。入居者が主体となってサンデーマーケットのような機会を企画、地元住民との交流の場を設けてはいかがでしょうか。</li> <li>クラインガルテンの入居者を決める際に何パーセントかの枠で若い人が優先的に入居できるよう工夫をしてはいかがでしょうか。若い世代により多く利用してもらうことでクラインガルテン佐久の情報を数多く発信していただきガルテン自体の価値を高めることも必要だと考えます。</li> </ol> <p>事業の目的</p> <p>クラインガルデンの目的の一つに農業を通じて望月町の魅力に触れていただくという趣旨があると思います。実際に利用者の中には観音寺や周辺の地に魅力を感じ移住された方もいらっしゃいます。しかしながら懇親会などに出席して利用者のはなしを聞いてみると、入居までの待ち時間が長く、移住の準備の時間などを考えると現実的でないとか、移住のための情報が少ないなどの意見も少なくありません。現状ではせっかく移住に興味を持って実現させるための材料が揃っていないように思います。そこで若い世代にガルテンに触れる機会を増やし望月町に目を向けてもらうことで過疎の町からの脱却の足がかりとしてはいかがでしょうか。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>佐久市で過疎地域は望月地区だけです。魅力＝ゼロ ご承知の通り著しい人口減少により地域社会の活力が低下し生産機能や生活環境の整備などされず夢も希望もない望月の街になっています。つまらない生活に慣れて静かに生きているしか出来ない住民も少なくはありません。</p> <p>江戸時代からの街道中山道の望月宿と茂田井間の宿の歴史文化と春日温泉の健康娯楽施設の資源を活用し整備を施しハイセンスで魅力あふれる「望月の街」にし、首都圏内外からの誘客の確保と住んでみたい交流人口に期待したい。</p> <p>魅力環境に魅力ある人が歩く街→望月 になれば最高です。</p>	望月宿と茂田井間の宿の整備	宿の門・道標・常夜灯整備と道路巾確保 本陣・旅籠・高礼場・酒蔵などの整備補助 土産店・お茶屋新設し各戸の軒先に統一したオブジェ (例とし、飛騨高山・小江戸の川越)
	春日温泉と周辺温泉の整備	廃墟された旅館の整備、温泉旅館の整備補助
	映画製作 アニメ制作	茂田井間の宿周辺では数多く映画化されている。最近ではアニメ制作もされ酒蔵ではアニメ表示の酒を販売
	案内板設置	1、2、施設への案内板を数多く設置
	市役所分散化	観光課などは望月支所に分散
	温泉券配布	佐久市民に温泉券を配布し温泉利用を高める
<p>望月中学校を卒業した生徒のほとんどが市内外の高校に進学しますが、その際の通学手段が大きな課題となっています。バス路線の縮小やダイヤの不整合、運賃負担の大きさに加え、デマンドワゴンが実際には使いづらいことなどから、「通いたい高校があっても交通手段が現実的でない」という声が保護者から寄せられています。特に、小諸方面や上田方面の高校への通学では、親による送迎に頼らざるを得ないケースが多く、共働き家庭やひとり親家庭にとって大きな負担になっています。</p> <p>高校への通学手段が限られていることは、生徒の進路選択に直接影響します。「通えないからあきらめる」「親の仕事を犠牲にして通わざるを得ない」という状況は、本来守られるべき子どもの教育機会の平等を損なうものです。また、「子どもの進学を考えると望月に住み続けるのは難しい」という理由から、市街</p>	望月中学校卒業生の高校通学実態調査の実施と対策検討について	<p>望月中学校を卒業した生徒の高校通学について、通学時間、交通手段、費用負担、保護者の送迎状況などの実態が十分に把握されていません。その結果、進路選択や家庭への負担にどの程度影響しているかが見えにくく、適切な施策につなぐににくい状況です。同様の状況は鉄道駅のない浅科中学校でも聞かれており、広く中山間地域に共通する課題と考えられます。</p> <p>まずは、市として望月中学校区および浅科中学校区の卒業生・保護者を対象とした高校通学実態調査を実施し、その結果を踏まえて、公共交通の改善や運賃助成などの具体的対策を県とお願いしていただくことを要望します。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>地へ転出した事例も実際にあります。望月地域の将来を考えるうえで、高校通学の問題は、単なる交通の課題ではなく、「子どもの進路」と「地域の人口維持・定住促進」に直結する重要なテーマです。</p> <p>学校単独では公共交通のダイヤや運行本数を変えることは出来ませんが、卒業生の通学状況や負担の実態を把握すること、保護者や地域から寄せられる声を整理して行政に伝えること、進路指導の場で通学手段や負担に関する情報提供を行うことなど、中学校として果たせる役割もあると考えます。行政には、望月中学校の卒業生の高校通学の実態調査を行うとともに、同様に鉄道駅のない浅科中学校区においても状況を把握し、その結果を踏まえて、バス・デマンド交通・運賃助成等を含めた具体的な対策を検討していただきたいと考えます。</p> <p>望月で育った子どもたちが、高校進学後も安心して通学し、学びと部活動を両立できることが、結果として「望月で子どもを育てて良かった」と感じてもらえる基盤になります。その際、山間部と市街地では、もともとの交通条件や選択肢の数が大きく異なり、同じ制度設計であっても、スタートラインが同じとは言えません。山間部でようやく確保される水準のサービスが、市街地ではすでに当たり前に利用できているという現状があり、形式的な「一律」ではなく、条件不利地域に配慮したきめ細かな支援が必要です。これは単に人口規模の問題ではなく、その地域に住み続けられるかどうか、地域の存続にかかわる課題です。</p> <p>今後のまちづくりにおいては、「中学校を卒業した後の生活」まで見据えた視点に立ち、望月中学校区を単位とした交通・教育環境の整備を重要な柱として位置づけていただきたいと考えます。高校通学の不安や負担が軽減されることが、子どもたちの進路の選択肢を広げ、同時に、若い世代が望月に住み続ける理由をつくることにつながると考えます。</p>	<p>中学校区単位での公共交通見直しとデマンド交通活用の検討について</p> <p>望月地域では、バス路線の縮小や便数の少なさにより、中学生・高校生の通学および地域の移動が不便になっています。特に、電車駅との接続不足や、休日の運行がないことなどが、通学・部活動・地域活動の制約となっています。こうした中山間地域では、市街地と比べて交通手段の選択肢が少なく、同じ条件での「自己責任」や「自助」を求めることは実質的な公平性を欠く面があります。</p> <p>中学校区単位での交通ニーズを整理し、路線バスとデマンド交通を組み合わせた柔軟な仕組みを検討していただきたいと考えます。特に、高校通学や部活動、地域行事等への利用も視野に入れ、ダイヤ設定や運賃設定を見直すことを要望します。</p>	
	<p>望月中学校と地域が連携した進路・通学情報提供体制の整備について</p> <p>保護者からは、「高校ごとの通学ルートや交通費、所要時間などの情報が分かりにくい」という声が寄せられています。そのため、進路選択の段階で、交通面の負担を十分に把握できないまま志望校を選ばざるを得ない場合があります。</p> <p>望月中学校、PTA、地域関係者が連携し、高校ごとの通学手段・所要時間・概算費用などを整理し、進路説明会や個別相談の場で分かりやすく提供できる体制を整えていただくことを要望します。また、同様の課題を抱える浅科中学校とも情報を共有し、中山間地域の保護者が共通して活用できる資料づくりや情報発信の在り方についても検討していただきたいと考えます。</p>	

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
	望月地域の支所機能強化と、教育・交通施策を支える予算配当・人員配置について	<p>望月中学校区における高校通学支援や公共交通の見直し、進路・通学情報提供の取組を実効性あるものとして進めていくためには、地域の身近な行政窓口である支所の役割が重要です。地域の状況を把握し、学校・PTA・地域団体との調整や情報共有を日常的に行うには、支所に一定の権限と、必要な予算・人員が配分されていることが不可欠です。</p> <p>しかし現状では、限られた人員・予算の中で多様な業務を抱えており、教育・交通に関わる新たな政策や、きめ細かな相談・調整業務に十分な時間や体制を割くことが難しい面もあると聞いています。望月中学校区を単位とした交通・教育環境の整備を着実に進めていくためには、支所が地域の実情を踏まえながら企画・調整・フォローを行える体制整備が求められます。</p> <p>つきましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望月中学校区を含む中山間地域の課題をきめ細かく把握し、対応できるようにするための支所機能の強化</li> <li>・高校通学支援や公共交通施策、情報提供体制づくりなど、地域に根ざした取組を継続して進めるための十分な予算配当</li> <li>・学校・PTA・地域団体との連携や調整、相談対応等に取り組むことができる人員配置の充実を図っていただき、「中学校を卒業した後の生活」も見据えたまちづくりを、地域と行政が協働して進められる基盤づくりを要望します。</li> </ul>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>望月地域のスポーツ少年団の活動は、子どもたちが仲間とともに体を動かし、挑戦や失敗を重ねながら、人として大きく成長していく大切な場です。同時に、地域の大人と子どもが顔の見える関係をつくり、望月への愛着や誇りを育む役割も担っています。しかし現状では、少子化による子どもの減少、競技志向の高まりとクラブ化の加速、指導者や保護者の負担の増大などにより、「子どもの成長の場」としてのスポーツ少年団の土台が揺らぎつつあると感じています。</p> <p>少子化が進み、チーム編成が難しくなる中で、勝敗や結果を重視する風潮が強まり、「子ども一人ひとりの成長」よりも「強いチームづくり」が優先されてしまう場面も見られます。本来、スポーツ少年団は、競技成績だけを目的とする場ではなく、運動が得意な子も苦手な子も、障がいのある子もない子も、安心して参加し、成長できる「地域の教育力」を支える場であるはずで、この原点が失われつつあることに、強い危機感を持っています。</p> <p>一方で、こうした活動を支えているのは、主にボランティアの指導者と保護者です。仕事や家庭をやりくりしながら指導にあたるコーチや代表者、送迎や当番、会計や大会運営などを担う保護者の負担は年々重くなっています。少子化や働き方の多様化、物価高なども重なり、「続けたくても続けられない」「子どもにやらせたいが保護者の負担を考えると躊躇してしまう」という声も少なくありません。にもかかわらず、ボランティア組織としてのスポーツ少年団に対する、公的な支援や後押しは十分に実感できていないのが現状です。</p> <p>さらに、学校部活動の地域移行が進む中で、スポーツ少年団がその受け皿となることが期待されています。当クラブでも、平成30年から部活動地域展開の方向性を探り、現在は望月中・立科中・浅科中の3校合同チームとして中体連大会に</p>	<p>スポーツ少年団活動を支える指導者・保護者への支援強化について</p>	<p>スポーツ少年団は、地域の子どもの健全育成に重要な役割を果たしていますが、少子化や働き方の変化、物価高などにより、指導者・保護者の負担が年々重くなっています。ボランティアに依存したままでは、活動の継続が難しくなる困りが出てきています。</p> <p>指導者の研修機会や情報提供、活動費や用具購入への助成、施設使用料の軽減、事務作業の負担軽減に向けた支援などを通じて、スポーツ少年団が持続可能な形で活動を続けられるよう、支援の充実を要望します。</p>
	<p>学校部活動の地域移行を見据えたスポーツ少年団への支援について</p>	<p>学校部活動の地域移行が進む中で、スポーツ少年団はその受け皿としての役割を期待されています。当クラブでは、平成30年から部活動地域展開の方向性を探り、現在は望月中・立科中・浅科中の3校合同チームとして中体連大会に参加するなど、先進的な取組を進めています。</p> <p>一方で、中学校に当該競技の部活動がない場合、その競技に親しむ子ども自体が減少し、チーム存続の危機にも直面しています。</p> <p>学校部活動の地域移行を実効性のあるものとするため、スポーツ少年団など地域クラブに対し、事務的・金銭的な支援、送迎や参加費に対する保護者負担軽減策、人材育成や情報提供など、具体的な支援策を検討・実施していただくことを要望します。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>参加するなど、先進事例となることを目指して取り組みを進めてきました。しかし、中学校に当該競技の部活動がない場合、「そもそもその競技を始める生徒が減る」ことが予想され、チーム存続そのものが危機にさらされています。学校部活動の地域移行を本当に機能させるためには、スポーツ少年団など地域クラブへの事務的・金銭的な支援や、送迎や費用面に対する保護者負担の軽減策など、具体的な支援が不可欠です。</p> <p>望月地域のまちづくりにおいては、こうした現状を踏まえ、「子どもが参加しやすい」「保護者や指導者が無理なく続けられる」スポーツ環境を整えることが重要です。公共交通や送迎支援によって「通える」「続けられる」ことを支えるとともに、スポーツ少年団の意義や役割を地域全体で共有し、行政、学校、地域団体が連携して、ボランティア組織への具体的な支援策を検討していただきたいと考えます。スポーツ少年団は、単なる習い事や競技団体ではなく、地域の子どもの健全育成と、望月という地域の将来を支える大切な基盤の一つであることを、改めてまちづくりの中に位置づけていく必要があります。</p>	<p>子どもの「競技志向」と「健全育成」のバランスを重視したスポーツ施策について</p>	<p>少子化や競技人口の減少の中で、勝敗や成績を重視する競技志向やクラブ化が進み、「強いチームづくり」が優先されがちな状況があります。しかし、スポーツ少年団本来の目的は、子どもの健全育成と、誰もが参加できる地域のスポーツ環境づくりにあります。</p> <p>市のスポーツ施策において、競技力向上だけでなく、子どもの成長や多様な参加を重視する観点を明確に位置付け、スポーツ少年団がその理念を実現しやすくなるような支援や周知に取り組んでいただくことを要望します。</p>
	<p>子どもが「参加しやすい」スポーツ環境整備と保護者負担軽減について</p>	<p>練習会場までの送迎、活動費の負担、試合や大会への付き添いなど、保護者の負担がスポーツ活動参加の大きなハードルになっています。特に共働き世帯やひとり親家庭では、「やらせたいが負担を考えると迷う」という声も少なくありません。</p> <p>公共交通やデマンド交通の活用、送迎支援や乗り合わせの仕組みづくりへの後押し、参加費負担の軽減策などを通じて、子どもが経済的・時間的な事情にかかわらずスポーツに参加しやすくなる環境整備を要望します。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
	<p>地域支所機能の強化と、それを支える予算配当・人員配置について</p>	<p>望月地域におけるスポーツ少年団や学校、PTA、地域団体の活動を支えるうえで、地域の身近な窓口である支所機能の役割は、今後ますます重要になると考えています。地域の実情に即した相談や調整、各種申請や情報共有を円滑に進めるためには、支所の機能強化と、そこに十分な予算・人員が配分されていることが不可欠です。</p> <p>しかし現状では、少人数体制や予算の制約もあり、地域からの相談や要望への対応、スポーツ少年団を含む各種地域活動の調整・支援に十分に時間を割くことが難しい場面も見受けられます。地域での取組を実効性のあるものにしていくためには、地域の状況をよく知る支所が、より主体的に企画・調整・支援に関わることができる体制整備が必要です。</p> <p>つきましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望月地域の実情に応じた支所機能の強化</li> <li>・地域づくりや子どもの健全育成に関わる事業を支所が継続的に担えるようにするための十分な予算配当</li> <li>・地域団体・学校・PTA等との連携や支援を進めることができる人員配置の充実</li> </ul> <p>を図っていただき、地域に根ざしたまちづくりと、子どもたちの育ちを行政と住民が協働して進められる基盤づくりを要望します。</p>
<p>交流人口の創出</p>		<p>先日駒の里草競馬大会に行きましたが、トイレが汚く、なおかつ和式トイレ以前にも改善をと言った事がありました。これでは次年度の草競馬大会に行くのも悩んでしまいます。早期の改修をお願いします！</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
商店街が賑わうように交通面を良くする		望月は、交通面が少なく何処かに行くのにアクセスがしにくい。 電車が通るインターが出来るなどの交通面での便利さがあるとこれからの若者たちも住みやすくなる。 また、地域の発展に繋がられる。
3歳未満が安心して遊べる場所が支援センターしかなく馬事公園も布施温泉も綺麗に整備されていないし熊なども心配なので佐久平などに出るしかないのが不便です。散歩をしたくてもルール無視の高齢ドライバーがいて安心して歩けない。 近所は高齢者ばかりなのでもちろん自治会もほとんど高齢者で若い人たちの意見なんて無視して好き勝手にやっています。 とにかく何をしても不便で住み心地も良くないので改善してもらいたいです。		庭や畑でゴミを燃やす高齢者がいて煙がとても迷惑なのでルールをしっかりと伝えてほしい
住み続ける側としては、賑わう事よりも日々の生活の安心安全さを重視するが、県外や近隣市町村などとの交流で多くの人を呼び集めるとすれば、中山道の環境整備と景観の維持をお願いしたい。	中山道の環境整備	「望月宿のみち案内」という看板が色褪せていて地図や文字が読みにくくなっている。(御桐谷西の信号交差点) 中山道である佐久良公園の横を通り、旧本牧小学校へと続く道のりは、草が伸びていたり枝が落ちていたりなど、歩きにくい場所がある。また、案内看板には主な見どころなどを写真付きで案内するなどしたら分かりやすいと思う。(参考として、茂田井宿の入り口に設置されている茂田井間の宿散策マップ) 中山道を歩く意味、歩きたい人達が歴史や文化に触れて楽しめるよう充実させてほしい。 過疎対策事業、地域振興を図る上で、現状の問題点を把握するべく、一度しっかりと望月宿を歩いてみてはいかがでしょうか。

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
望月は中山道、榊祭り、駒の里と歴史あるまちであり、歴史ある文化やまちの姿を生かしつつ、多くの人に来てくれるようなまちになることを期待する。		望月は駒の里という歴史ある地であり、そのことを広く伝えていくことはできないか。草競馬の開催だけでなく、馬事公苑に引退した競走馬を引き取って乗馬や見学に来てもらうなど。
地元に住む人が安心して暮らせるようにしてほしい		畑で作物を作っても、鹿や猿に食べられてしまい、農業を続けるのが厳しい。 市の方で対策を考えて欲しい。
		使っていない学校跡地などの有効活用を考えて欲しい。 地域の人が集まったり、子供が集まれる場所があればいいのではないかな。
若者が住みたい、住み続けたいまちとなるよう、道路改修等環境整備を進めてもらいたい。 望月に住むことによる、何かインセンティブがあれば住みやすい地域となるのではないかな。		金井区から岩下区へ南北に通る市道の補修をしてほしい。 穴の補修だけでガタガタな道路になってしまっている。
		鳥獣（シカ、サル、クマ等）対策をしていただき、安心して住むことができるよう、また、営農できるようにしてほしい。

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>朽ちた空き家、放置された空き店舗、耕作放棄地、こうした「廃れたまち」「放置された土地」の象徴ともいえる建物、土地を無くし、明るく活気のある地域にしたい。</p>	<p>空き家の取り壊し</p>	<p>住民の生活者目線で、自宅周辺の空き家は視覚的な荒廃感を与え続けている。</p> <p>諦め、見慣れてしまうとその風景が当たり前になる。それが過疎地の心理的無気力化につながっている。同時に物理的にも、防災・防犯・風通しの面で空き家の存在が弊害となる。</p> <p>大地震の際の家屋の倒壊は、望月地域の大きなリスク。大分市佐賀関の大火災の例にあるように火災が起これば空き家は延焼の原因ともなる。倒壊した家屋は避難路を塞ぎ、避難や消火、救出の妨げになることは明らか。</p> <p>管理者が不在、あるいは遠方の親族の場合、自治会にはどうすることも出来ない。</p> <p>その地に住み有事に被害を被るのは住民である。自らの安全を確保しようにも手出しが出来ない問題こそ市や行政が積極的に介入・干渉し、問題解決に当たるべき。</p> <p>空き家バンク等での活用も大切だが、何年も借り手も付かない物件も含め、管理が届かず、安全性にも問題がある物件に関しては、解体、更地化を進めて欲しい。</p> <p>空き家がなくなり更地になることは、地域の日常風景が一気に明るくなり変化が分かりやすいためインパクトも大きい。心理/物理の両面で、風通し/見通しがよくなり、地域が明るくなる。「人の手が入り始めた」という印象は住民にとって希望を感じる。</p> <p>更地の活用に関しては、ソフト（仕組みや制度）の面から新築費用の補助等支援をお願いしたい。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
	空き店舗の利用促進および商業の活性化	<p>望月地域の活性化というと、温泉や中山道の整備と考える案が多く聞かれるが、</p> <p>観光目線で外から人を呼ぶ前に、住民目線でその地域で暮らす人々が、この地域に活気を感じる施策を検討すべきでは。例え中山道に人を呼んでも、かつての宿場町が空いている店もなく、何の賑わいもなければ、ただ寂しいだけだ。観光客の前に日常的に人が集まり、商売に活気がなければ町は死んだままだ。</p> <p>案として、行政が積極的に関与し、空き家に新規開業を促進する。お店を開きたいが資金に限られる、地方で改行したいがやっていけるか不安、チャレンジしたいので良い条件の場所を探していた、そんな事業者魅力的な優遇処置や補助制度を検討して欲しい。</p> <p>市だけでなく、望月地域の住民や商業者も参加型のプロジェクトとして取り組み、制度の整備から申し込み者の募集、選定まで地元の住民達を加えて共創する。</p> <p>特に、開業を希望者には、この場所でのような店/事業を行うのか、市民参加の場でプレゼンしてもらい、その選定についても市民に投票権を与えるなど。</p> <p>事業者からすると、開業前から住民の反応を感じ取り、応援してくれる人たちの存在を確認できることは大変心強いに違いない。プレゼンを頑張ればそこからファン形成が可能となる。</p> <p>プロジェクトは制度としてある程度、競争率が高く、レベルの高いプレゼンが必要になること。また、開業後の事業継続、繁盛店化の仕組みやサポートも重要、そこまで見込んだプロジェクトを整備する。開業に至った事業者は確かにその後も人気店として賑わっている。地域の活性化に一役買っている。そうした循環が生まれれば、町の賑わいや活力は自ずと取り戻せるだろう。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
		<p>シャッター通りと化した商店街や地方都市を復活させた例は沢山あると思うが、那須塩原、黒磯にSHOZO Street（ショウゾウストリート）と呼ばれる場所があるので参考になるかもしれない。行政がどのように関わっているかは不明だが、1軒のカフェオーナーの取り組みから始まり、シャッター通りだった田舎の一画が、個性的/魅力的な様々な業種の店舗が並ぶ人気スポットに再生した。</p> <p>また、近隣町村では、御代田町も個性的で魅力的な新規開業店（個人オーナーの起業）が多い印象を受ける。軽井沢に近いという事で集客を見込めることがメリットに映るのかもしれないが、何か参考になる部分があるかもしれない。</p> <p>誰もいない望月宿がSHOZO Streetのように個性溢れる魅力的な場所になればと願う。</p> <p>ほかに無い個性や特徴を持つ店が集まる場所にすることが大切かもしれない。</p> <p>協調性や社会性は必須だが、ある意味クセが強い/個性やキャラクターを持つオーナーやニッチで特化した商品やサービスを提供する事業者を意図的に集める方が成功しそうな気もする。ストリート全体にはっきりとした個性があるほうが吸引力を発揮するのでは。</p>
<p>地元に住む人が住みやすく、また子供達が安心して過ごせる、帰ってきたいと思うようになってもらいたい。</p>	<p>交通の便が悪い</p>	<p>新幹線で市外から人が来ても、望月まで来る手段が限られている。バスの運行もお金がかかることなので難しいかもしれないが、地元の人、外から来た人も使えるような交通手段があるといい。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
地域に根ざした文化と新しい外部からの視点を掛け合わせた「魅力的でないか」にしたい	望月商店街の活性化	<p>榊祭り以外の日でも人が歩いている商店街を目指す。若者や移住者がチャレンジしやすいよう、空き店舗の賃貸契約やリノベーションの支援をしてほしい。商店街に文化的拠点が1つできるだけで、新たな価値が循環的に生まれることが期待される。定期的なマルシェ、ワークショップ、アート展示で交流人口を創出。</p>
	春日温泉の活性化	<p>春日温泉、ひいては春日地区のポテンシャルを最大限活かす。施設の改修を支援し、現代のニーズに合った、癒やしの空間を創出。特に、若年層や女性に親しまれるデザインやサービスの導入が必要。同時に、春日温泉を起点に、自然散策、農業体験、料理体験などを組み合わせたプログラムを企画。滞在型の観光ができれば尚良し。</p> <p>空き家、空き店舗を活用し、春日地区における移住促進プロジェクトを推進。「春日温泉」をブランド化。地元クリエイターや若者と連携し、発信力を高める。</p>
空き家対策に重点をおき、街の景観を良くし、人々を呼び込む		<p>望月のバスターミナル周辺の、以前は店舗であった場所や建物を有効に使い、バスの乗降客（学生、観光客）が待ち時間の間憩える場所を提供できないか</p>
		<p>地元のカフェや農家・飲食店等のお店を運営されている方々に協力をいただき、公園や空き地などを利用して、フリーマーケットや朝市等を企画、定期的に開催されてはどうか</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>昨年そして今年の高温（特に夏期）と多発する自然災害（特に降雨に関するもの）から、多くの市民が地球温暖化の脅威をひしひしと実感しています。</p> <p>温暖化防止対策の中心は二酸化炭素排出量の削減ですが、佐久市は2050年までに排出量実質ゼロを掲げています。</p> <p>行政・市民が協力して、「何ができるか」「何をすべきか」「どの様に実現するか」について議論を重ね、多くの計画書・施策等が示されています。</p> <p>しかし、今、私たちは具体的に「何をしているか」についての実感はほとんどありません。</p> <p>また、排出量実質ゼロの目標に対する工程のどの位置に居るのかについても、知る機会がありません。</p> <p>加速する地球温暖化と不安定な国際情勢の中、私たちの次の世代（30年後）や次の次の世代（50年後）に、人が住める自然環境と食糧の確保を約束できる施策を実施することが、今、一番必要だと考えています。</p> <p>望月地区は、一次産業が中心の地域です。</p> <p>農業分野では、後継者と新規就労者をもっと積極的に後押しする体制を整備し、標高の高さを活かした生産、温暖化に対応できる作物の導入や品種の改良を試み、若者には若者なりのパワーのある農業経営、高齢者には高齢者なりの小規模でも多品種を大切に育てる生活に根差した農業ができれば、その多様性の中で、大きな気候変動があっても全滅…ということを免れて、一定の生産量を維持できるのではと思います。</p> <p>また、農家にとって大きな問題になっているニホンジカについて、頭数管理と食用への活用を、現在のほとんど私的と言ってもよい対策から、佐久市・長野県が主体となつて行なう仕組みへの移行を期待しています。</p> <p>林業分野では、二酸化炭素の吸収と水源涵養、土砂災害の防止等公益的機能が期待されている森林で、林業就労者不足が深刻です。</p> <p>他の職種と兼業する新しいかたちの若い新規就労者を積極的に後押しする体制を整備し、山裾に小さな林業家が点在するようになれば、地域の森林の整備も進みます。</p> <p>合わせて、森林環境譲与税を活用した事業を、現在の林道整備等から発展させて、高林齢林の更新を促進して、二酸化炭素吸収量の増加を目指し、間伐等の適</p>		<p>各地区で、新規就農者が増えています。</p> <p>耕作放棄地を借り受けて生産をスタートさせ、新しい手法を取り入れたり、今までにない作物の生産に取り組んでいるのは、ありがたいことです。</p> <p>しかし、農地全体の景観はかつてとは異なったものになっているようです。</p> <p>圃場周辺（道路までの法面）や水路周辺の草刈りがあまり行われず、水路のマスの管理も十分でない場合が見受けられます。</p> <p>近隣の以前からの住民は、「草刈りをして」とはなかなか言えません。</p> <p>日頃顔を合わせる付き合いの中で、注意とも受け止められるひと言で関係がギクシャクするのは避けたいのです。</p> <p>就農1年目に何も言わずに過ぎてしまえば、新規就農者はこれでいいのだ…と思う様になり、以後もこの状態が続くことになります。</p> <p>管轄の農政課で、新規就農者を集めてオリエンテーションの様なかたちで、地域で農業を営む上でのルールや配慮、上手な草刈りの方法等をアドバイスしてはいかがでしょうか。</p> <p>また、就農1年～2年位は、時折（生産中の時期や晩秋の畑仕事舞いの後等）個別に圃場を訪ねて、必要なアドバイスもお願いしたいです。</p> <p>適切に管理された畑や森林は、それだけで自然に美しい景観となります。</p> <p>観光客も訪れ、散策をする姿も見られる春日/湯沢地域の景観が、魅力的なものになることを願っています。</p>

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>正な森林管理を継続して、水源涵養・土砂災害防止にも役立てて欲しいと思います。</p> <p>また、林内に残置される未利用材を減らし、バイオマス燃料としての活用を後押しする制度も必要だと考えています。</p> <p>水産業では、千曲川・鹿曲川等で、度重なる増水等で水産物の収量の減少が危ぶまれています。伝統的な漁法や食文化を残す為にも、援助が必要です。</p> <p>また、現在、県企業局で流量観測が行なわれていますが、積極的な水力発電への取組みを是非行って下さい。</p> <p>佐久平駅周辺の都市部では開発が進み、次々と新しい企業が進出しています。</p> <p>しかし、日照時間が長いという太陽光発電には好条件な立地にもかかわらず、建物屋上を利用した太陽光発電を行い、自社の消費電力を賄うという取組みは、進んでいないように思います。</p> <p>土地の造成から建物の建設まで多量の化石燃料を消費し、稼働が始まれば通年で大量の電気(20%は石炭火力)を消費し、夏期は空調設備からの放熱と、建物や周辺からの照り返し…という気温上昇に拍車をかける要素が多く、開発に義務付けられている最低限の緑化樹木は、数年経てば不適地でやっと生きながらえている状態で、二酸化炭素吸収や緑陰の効果を期待できるものではありません。</p> <p>こうした都市部のマイナスを、周辺の過疎化地域とお荷物視されている望月地区の第一次産業が、相殺すべく大きな役割を担っているとも言えるのではないのでしょうか。</p> <p>経済的な発展と便利で快適な生活を手に入れても、人として生きていくのが厳しい自然環境と、不作や関税等で高騰する食糧難を次世代に残すことにならない様に、今、「何をしているか」が問われていると思います。</p>		

これからの望月のまちづくりに関する意見	具体的な要望事項	
	要望事項	要望の趣旨
<p>中山道など歴史的な文化持っていることは強みであると思う。</p> <p>訪れたいと思う人の交通手段、訪れた人の駐車場や景観としての無電柱化など、訪れたいと思ってもらえる対策が必要ではないか。</p>		<p>中山道付近の駐車場整備。中山道沿いに歴史を生かしたお店を出してもらったり、歴史民俗資料館にも資料などをたくさん展示して、訪れてくれる人を増やしてはどうか。</p>
<p>佐久平駅周辺だけが発展し、その他は置いてきぼりのように感じる。(望月に限らずかもしれないが)</p> <p>同じような開発を望月でしろと言っても難しいし、生活環境が変わってしまうのも嫌だが、もっと周辺の地域にも目を向けて、地域の人々が住みやすいまちづくりを進めて欲しい</p>		<p>特定の日などに地域みんなが集まれるイベントみたいなものがあればいいのではないか。</p> <p>フリーマーケットなど、地域の人たちが集まり会話ができる機会があれば、新しく移住してきた人達もそこから色々な人と面識を持つことができると思う。</p>
		<p>望月新トンネルを抜けたところ交差点は、休みの日の時間帯によって凄く渋滞する。信号が変わる時間や、その後の信号の多さも重なって渋滞するのではないかと思うので、何か対策を考えてください。</p>
<p>子育て世帯が安心して子育てできる地域になってほしい。</p> <p>子育て世帯が移住したいと思えるような地域にして欲しい。</p> <p>望月=のどかな場所だけでは難しいと思う。</p> <p>周辺人口的に無理かもしれないが、有り余っている広大な土地を利用して、コストコやIKEAの様な話題性があり、人が流れる様な施設を誘致して欲しい。</p>		<p>人口を増やすには、子育て世帯が望月でも安心して子育てができると思えるように環境を整える必要がある。</p> <p>まずはきちんとした小児科をつくってほしい。曜日限定や時間限定ではなく。</p> <p>結果佐久平まで出ないとならなく、親としてはやはり不安。</p>
		<p>佐久平にばかりお店が増え便利になっているので、差別化として、望月にコストコが出来たら最高。</p> <p>唯一のファミレスも葬儀場になってしまい残念です。</p>